

みずほCustomer Desk Report 2024/06/05 号(As of 2024/06/04)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	156.47
TKY 9:00AM	156.10	1.0908	170.25	1.2811	0.6690
SYD-NY High	156.48	1.0916	170.71	1.2818	0.6699
SYD-NY Low	154.55	1.0859	168.07	1.2743	0.6631
NY 5:00 PM	154.91	1.0879	168.47	1.2770	0.6650

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,711.29	▲140.26	日本2年債	0.3800%	▲0.0200%
NASDAQ	16,857.05	▲28.38	日本10年債	1.0300%	▲0.0300%
S&P	5,291.34	▲7.94	米国2年債	4.7715%	▲0.0397%
日経平均	38,837.46	▲85.57	米国5年債	4.3459%	▲0.0633%
TOPIX	2,787.48	▲10.59	米国10年債	4.3289%	▲0.0625%
シカゴ日経先物	38,430.00	▲230.00	独10年債	2.5380%	▲0.0460%
ロンドンFT	8,232.04	▲30.71	英10年債	4.1765%	▲0.0440%
DAX	18,405.64	▲202.52	豪10年債	4.3170%	▲0.0500%
ハンセン指数	18,444.11	▲41.07	USDJPY 1M Vol	9.32%	0.79%
上海総合	3,091.20	▲12.71	USDJPY 3M Vol	8.99%	0.33%
NY金	2,347.40	▲21.90	USDJPY 6M Vol	9.35%	0.16%
WTI	73.25	▲0.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.52%	Yen Call Over
CRB指数	286.27	▲2.82	EURJPY 3M Vol	8.40%	0.37%
ドルインデックス	104.11	▲0.03	EURJPY 6M Vol	8.81%	0.18%

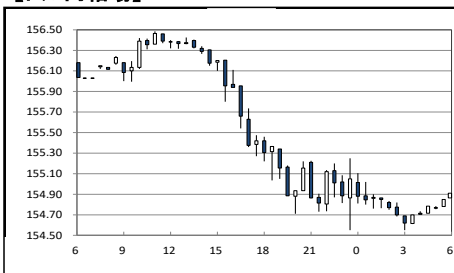
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月4日	23:00	米 製造業受注前月比 / 除輸送	4月 0.7%/0.7%	0.6%/0.5%
	23:00	米 耐久財受注前月比確報 / 除輸送	4月 0.6%/0.4%	0.7%/0.4%
	23:00	米 JOLT求人	4月 8056k	8350k

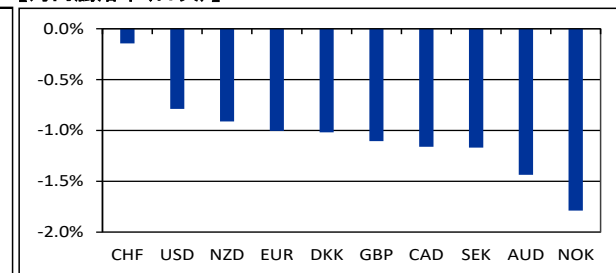
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月5日	10:30	豪 GDP(前年比)	1Q 1.2%	1.5%
	10:45	中 Caixin中国PMI コンポジット/サービス	5月 -/52.5	52.8/52.5
	16:55	独 PMI確報 サービス/コンポジット	5月 53.9/52.2	53.9/52.2
	17:00	欧 PMI確報 サービス/コンポジット	5月 53.3/52.3	53.3/52.3
	18:00	欧 PPI(前月比)	4月 -0.6%	-0.4%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 175k	192k
	22:45	米 PMI確報 サービス/コンポジット	5月 54.8/54.2	54.8/54.4
	22:45	加 政策金利(翌日物貸出金利)公表	- 4.75%	5.00%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	5月 51.0	49.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.00-156.50	1.0800-1.0900	167.00-169.50

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は156.10レベルでオープン。午前中、この日の高値156.48まで上伸するも流れは続かず、午後は上値の重い推移が継続。海外時間に入ると日銀による国債購入額減額についての報道や米金利低下が重石となり、ドル円は154.71まで下落。さらに発表された米経済指標結果も予想を下回ったことから安値154.55をつけ、154.91でクローズした。

昨日のドル円は、政府日銀による国債購入額減額についての報道から本邦の早期利上げ実施観測、対して、ここ許の米国経済指標結果の下振れが米国の早期利下げ実施観測の思惑へと繋がりが、ドル売りが加速した。日米の金融政策の方向性の違いが意識されやすいマーケット環境となった状況下、本日の海外時間にも米国重要指標の発表を控える。昨日同様米金利低下に伴うドル売りに反応しやすいものと考えられることから、指標結果が下振れた場合のダウンサイドリスクに警戒したい。

東京	東京時間のドル円は156.10レベルでオープン。午前中は輸入企業によるドル買い円売りフローもあり、一時156.48まで上伸。流れは続かず、午後に入ると前日のドル安円高もあってか上値重く推移。155.96レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.96レベルでオープン。全般的にドル堅調だったが、ドル円は当初156.11をつけた後は終始円買いに押された。154.71まで売られ154.87レベルでNYに渡った。キャリートレードの巻き戻しとの声も聞かれ、昼前に「日銀が国債購入額を減額するのでは」との観測記事も円買いを加速させた。
ニューヨーク	昨日の米ISM製造業景況指数結果を受け、米需要減、成長鈍化懸念からキャリートレードの巻き戻しが強まっているとの話にドル円も上値を重くし、海外市場で154.71まで下落し、154.87レベルでNYオープン。朝方は、一旦155.20まで戻す局面もあったものの、10時に発表されたJOLT求人では求人数が予想を下回ったことや、前回分も下方修正され、同時に発表の4月耐久財受注ヘッドライン(確報値)も予想を下回ったことから154.55まで反落する。その後再び155.25まで戻したが、米金利が長短共に低下する中上値を抑えられ、午後に入り154.55まで反落する。終盤に掛けては金利低下が落ち着いたことからじりじりと値を戻すが上値は重く、154.91レベルでクローズした。一方、ユーロドルも軟調なユーロ円の動きにつれ安となり、海外市場で1.0859まで下落し、1.0862レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続いたが、JOLT求人結果を受けたドル売りにユーロドルは1.0879まで戻す。その後も米金利が低下する中、ユーロドルは事理高で推移し1.0887まで戻し、1.0879レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。